



第43回「日本賞」グランプリ決定！

教育コンテンツの国際コンクールである「日本賞」の授賞式が、本日午後5時からNHK放送センターで行われ、グランプリ日本賞のほか、コンテンツ部門5つのカテゴリーの最優秀賞や2つの特別賞、企画部門の最優秀企画に贈られる放送文化基金賞などが発表・表彰されました。

【コンテンツ部門】

グランプリ日本賞

一般向けカテゴリー最優秀賞（東京都知事賞）

作品名： **消えたブロガー “アミナ”**

国／地域： **カナダ**

機関： **エスペラモス
カナダ国立映画制作庁**

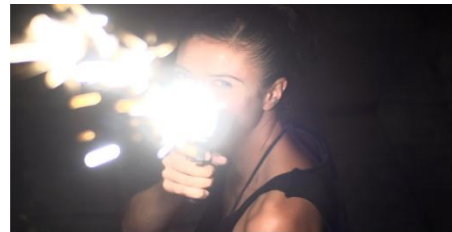
内容時間： **84分59秒**

メディア： **映画**

内容： アミナは、シリア・ダマスカスに住むレズビアン¹の反体制活動家。彼女は“ゲイガール・イン・ダマスカス”というブログを開設し、世界中から多くのフォロワーを集める。ダマスカスでの活動の姿と、エロティックなプライベートのささやきが人気を集めたのだ。カナダに住むサンドラも、ネットの上でアミナに恋をしたひとりだった。

しかし、突然、アミナは姿を消す。アミナの行方をめぐり、物語は急展開してゆく。秘密警察に連れ去られたのか？もはや、彼女は生きてはいないのか？さまざまな憶測が飛び交う中、大手メディアや数々の諜報機関が動き始めたその時、あまりにも意外な事実が明らかになる。

ネットに潜むリスクと、それに翻弄される現代社会を鮮やかに描く。



Le Profil Amina
Réalisé par Sophie Deraspe
Produit par Mathias Cloutier (CNF),
Isabelle Couture (Esperamos Films)
Photo tirée de la production
© 2015 Esperamos Films et l'Office
national du film du Canada. Tous droits
réservés.

JAPAN PRIZE 2016

INTERNATIONAL CONTEST FOR EDUCATIONAL MEDIA

各カテゴリ最優秀作品

幼児向けカテゴリ最優秀賞（総務大臣賞）

作品名： **たすけてボンゲー
あっ 前歯がぬけた！**

国／地域： **韓国**

機関： **教育放送公社**

内容時間： **13分3秒**

メディア： **テレビ**

児童向けカテゴリ最優秀賞（文部科学大臣賞）

作品名： **ぼくの町は難民キャンプ**

国／地域： **イギリス**

機関： **ドラマーテレビ**

内容時間： **28分11秒**

メディア： **テレビ**

青少年向けカテゴリ最優秀賞（外務大臣賞）

作品名： **サッカーは幸せへのパスポート**

国／地域： **スペイン、カタール**

機関： **サロン・インディエン・フィルム
ラ・ミラダ・オブリクア**

アルジャジーラ・ドキュメンタリーチャンネル

内容時間： **84分25秒**

メディア： **映画**

クリエイティブ・フロンティア カテゴリ最優秀賞（経済産業大臣賞）

作品名： **プロフェッショナル 私の流儀**

国／地域： **日本**

機関： **日本放送協会
株式会社 DigiBook**

メディア： **アプリケーションソフトウェア**

特別賞

国際交流基金理事長賞

作品名： **赤ちゃんがやってくる
ガナアはスーパーマン**

国／地域： モンゴル
韓国

機関： モンゴル公共放送
教育放送公社

内容時間： 15分40秒

メディア： テレビ

ユニセフ賞

作品名： **スリーピング ライオン**

国／地域： イギリス

機関： リブラテレビジョン
デイビッド アンド ゴライアス

内容時間： 15分25秒

メディア： テレビ

【企画部門】

最優秀賞（放送文化基金賞）

作品名： **未来は私のもの**

国／地域： バングラデシュ

機関： ドゥルーパッド・コミュニケーション—教育発達メディア

優秀賞（日本ユネスコ協会連盟賞）

作品名： **ゲレンデに夢を ～アフガニスタン少女の挑戦～**

国／地域： アフガニスタン

機関： メルガン映画祭事務局

JAPAN PRIZE 2016

INTERNATIONAL CONTEST FOR EDUCATIONAL MEDIA

■「日本賞」－新たな半世紀に向けて－

「日本賞」は、世界の教育番組の質の向上を図るとともに国際的な理解と協力の増進に役立つことを目的として、1965年にNHKが創設、去年50周年を迎えました。2008年からは審査の対象を「教育番組」から「音と映像を用いた教育コンテンツ」に広げ、教育とメディアに特化した世界でも類を見ないユニークな国際イベントとして発展しています。

今年のコンクールには世界58の国・地域から316の作品と企画がエントリーされ、12の国と地域から12人のコンテンツ制作者や研究者が最終審査にあたりました。

会期中には、一次審査通過作品の上映会、メディアの最先端で活躍するプロフェッショナルによるパネルディスカッションなどに加え、実践的な制作のノウハウを学ぶワークショップなどを実施しました。

■「日本賞」関連番組の放送予定

「第43回 日本賞ドキュメント」(仮)

11月20日(日) 午後3時～3時59分 Eテレ

■日本賞HP www.nhk.or.jp/jp-prize/

問い合わせ

NHK広報局広報部

電話 03-5455-2458